	ज 上未同	等専門学校	党 開講年度	平成29年度(2017年度)	授	業科目	論理的英語コミュニケーショ ン	
科目基础	楚情報								
科目番号 受業形態		0043 講義		科目区分	1		択 ·		
安美形態 開設学科				単位の種別と単位数 対象学年		学修単位: 2 専2			
開設期		前期	(ノハ) 五工子寺以	週時間数					
教科書/教	材	なし 英和	和・和英辞書は既に賺	購入しているもので	よい				
旦当教員		坂元 真理	里子						
到達目標					\0\\ -			<u> </u>	
を語での 語の本に るように	ついて紹介	ユニケーショ するプレゼン	ョン能力を、フックI シテーションを行な [・]	レワューと演習形式 ったり、それについ 	(のフレセンテーショ)て英語で自分の意見	まと練習を書り	』によって いたり話し	「身に付ける。具体的には、読んだ英 」たり、意見の交換を行なったりでき	
ルーブリック			四相仇人孙忠,亦且命曰中				_		
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目			未到達レベルの目安		
プレゼンテーションの技法につい て			自分または他者のプレゼンテーションの内容について理解し、その内容やそこから派生した話題について英語で議論することができる。		自分または他者のプレゼ ョンの内容について理解 の考えをまとめて英語で り発表したりできる。		し、自分	レゼンテーションを行い、また他	
洞察的思考能力について			講義内容や題材の中での論点について自分の意見や多角的な視点からの考えをまとめて英語で議論することができる。		講義内容や題材の中での論点について自分の意見や多角的な視点からの考えをまとめて英語で書いたり発表したりすることができる。		な視点か で書いた	講義内容や題材についての論点を 正しく理解し指摘することができ ない。	
英語を使った論理的なコミュニケ ーションについて			プレゼンテーションの技法や英語 の論理性について科学技術英語で 修得したことをもとに、論旨を論 理的に組み立てたうえで発表や議 論の中で英語で実践することがで きる。		の論理性について 修得したことを、 テーションにあて	プレゼンテーションの技法や英語 の論理性について科学技術英語で 修得したことを、自分のブレゼン テーションにあてはめ英語で実践 することができる。		修得したことを、自分のプレゼン	
	列達目標	項目との関	-		·			·	
教育方:	去等								
既要								予め履修していることが望ましい。	
受業の進む	め万・万法	説明を受	受けたりする。	関し互いに質疑応答	を行うほか、いくつ	かの点	(について	議論したり、追加の情報についての	
注意点		説明を受 毎回提示 参のこと 人前で意 テーショ	がけたりする。 でされる課題(予習 で、与えられた課題(見を述べたり他者の	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、いくつ ・、学習内容の理解おりません。 ・、学習内容の理解おりません。 ・する活動が嫌いな学	かの点 	について 察的思考 ついて真 数講は勧め	議論したり、追加の情報についての 能力を養うこと。英和・和英辞典持 面目に考えることが嫌いな学生や、 ない。ディスカッション、プレゼン	
注意点		説明を受 毎回提示 参のこと 人前で意 テーショ	でけたりする。 でされる課題(予習 と。与えられた課題(が見を述べたり他者。 は見を述べたり他者。 はないで英語	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、いくつ 、学習内容の理解お勢で取り組むこと。 する活動が嫌いな学 る活動が多い。多量	かの点がよび洞物事に対象を	について 察的思考 ついて真 数講は勧め	議論したり、追加の情報についての 能力を養うこと。英和・和英辞典持 面目に考えることが嫌いな学生や、 ない。ディスカッション、プレゼン む活動も多く行う。また、基本的に	
注意点		説明を受示しています。 説明を受力を受力できる 人デーシー 授業中の	がたりする。 される課題(予習 。与えられた課題 見を述べたり他者。 シ等、人前で英語 シ言語は英語を使用す	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、いくつ 、学習内容の理解お 勢で取り組むこと。 する活動が嫌いな学 る活動が多い。多量	かの点がある。	ででいて できない できます できます できます できます できます できます かいてき できます はいい できます がっこう できます かい アンジャン・アンシャン・アンジャン・アンジャン・アンジャン・アンジャン・アンシャン・アンジャン・アンジャン・アンシャン・アンジャン・アンシャン・アンシャン・アンシャン・アンシャン・アンシャン・アンシャン・アンシャン・アンシャン・アンシャン・アンシャン・アンシャン・アンシャン・アンシャン・アン・アンシャン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン	議論したり、追加の情報についての 能力を養うこと。英和・和英辞典持 面目に考えることが嫌いな学生や、 ない。ディスカッション、プレゼン む活動も多く行う。また、基本的に	
注意点		説明を受った。 毎日 日本	が付たりする。 される課題(予習 であるいれた課題は 見を述べたり他者で うい等、人前で英語で で表語は英語を使用する 授業内容	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、いくつ 、学習内容の理解お 勢で取り組むこと。 する活動が嫌いな学 る活動が多い。多量	かの点にあります。 はいまでは、大切事に受話 はいまでは、大切事に受話 はいまでは、大切事に受話 はいまでは、大切事に受話 はいまでは、大切事に受話 はいません。	原について 別察的思考 でのいて真 のででである。 の到達目 を表する。 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 の。 のでは、 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。	議論したり、追加の情報についての 能力を養うこと。英和・和英辞典持 面目に考えることが嫌いな学生や、 ない。ディスカッション、プレゼン む活動も多く行う。また、基本的に こく聞き取ることができる。 デーションを聞いて内容を正しく理解	
注意点		説明を受ける。 毎日 日本	受けたりする。 される課題(予習 、与えられた課題(見を述べたり他者 に 記つ等、人前で英語 記言語は英語を使用 授業内容 聞く	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、いくつ、学習内容の理解が動で取り組むこと。する活動が嫌いな学にる活動が多い。多量	かの点にある。 ないの点になった。 ないの点にないの点にないの。 ないの点にないの点にないの。 ないの点にないの。 ないの。 ないのにないの。 ないのにないのにないのにないのにないのにないのにないのにないのにないのにないのに	(について 調察的思考 では勧め でででででででいます。 かります。 かります。 ででででででででいます。 ないででででいます。 ないでではいます。 ないではいないないないないないないないないないないないないないないないないないな	議論したり、追加の情報についての 能力を養うこと。英和・和英辞典持 面目に考えることが嫌いな学生や、 ない。ディスカッション、プレゼン む活動も多く行う。また、基本的に こく聞き取ることができる。 デーションを聞いて内容を正しく理解 3。	
注意点		説明を受示を受示した。 毎年 日本	がたりする。 される課題(予習 。与えられた課題(見を述べたり他者 。 記つ等、人前で英語 記一等、人前で英語 で で で で で で の で の で の で の で の で の で の	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、いくついまでである。 ・、学習内容の理解がいかである活動が嫌いな学 である活動が多い。多量	かかの点 よび事の は事の はい事の でご語語る語言る 語る語る。 ででする。	原について 調察的思考 では勧め ではもいますが ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。	議論したり、追加の情報についての 能力を養うこと。英和・和英辞典持 面目に考えることが嫌いな学生や、 ない。ディスカッション、プレゼン む活動も多く行う。また、基本的に こく聞き取ることができる。 テーションを聞いて内容を正しく理解 る。	
注意点		説明を受示される。 毎年 日本	受けたりする。 される課題(予習 。与えられた課題(見を述べたり他者。 う等、人前で英語・ う言語は英語を使用・ 授業内容 聞く 聞く	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、いくつ 、学習内容の理解 、学習内容の理解 、学習内容の理解 、学習の 、学習内容の理解 、表 、表 、表 、表 、表 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	かかの点に物では、大きないでは、またないでは、大きないでは、ままないでは、ままないでは、ままないでは、ままないでは、ままないでは、ままないでは、ままないでは、ままないでは、ままないでは、ままないでは、ままないでは、ままないでは、ままないでは、ままないでは、ままないでは、ままないでは、まな	原について 調察的思想 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般	議論したり、追加の情報についての 能力を養うこと。英和・和英辞典持 面目に考えることが嫌いな学生や、 ない。ディスカッション、プレゼン む活動も多く行う。また、基本的に と関き取ることができる。 テーションを聞いて内容を正しく理解 る。 内容について正しく理解することができる。 ケ、内容を正しく理解することができる。	
注意点		説明を受示された。 毎年 日本	受けたりする。	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、いくついまででは、学習内容の理解がある活動が多い。多量は、100mmのでは、10	かかのよりないでは、いかのは、いかのというでは、いかのというでは、いからないでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、	はについて 関察のは動き 野の形では動き 野の形では動き かります。 野のののは動き かります。 ではいでは、 ではいて、 ではいて、 ではいて、 ではいて、 ではいて、 ではいて、 ではいて、 ではいて、 ではいで、 ではいて、 では、 ではいて、 ではいて、 ではいて、 ではいて、 ではいて、 ではいて、 ではいて、 ではいて、 ではいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	レく聞き取ることができる。 テーションを聞いて内容を正しく理解 3。 内容について正しく理解することができ か、内容を正しく理解することができ から論旨や中心的となるテーマについ	
注意点		説 毎参人デ授 週 1週 2週 3週 4週 5週	がけたりする。 まされる課題(予習題にある。	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、いくつ 学習内容の理解 が できる できる 活動が 多い。 多 できる	かからよ物生の一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	ででいて、 ででいて、 ででいて、 ででいて、 ででいて、 でででいて、 ででででででででいる。 ででででででいる。 ででででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でい。 でいる。	議論したり、追加の情報についての 能力を養うこと。英和・和英辞典共 面目に考えることが嫌いな学生や、 ない。ディスカッション、プレゼン が活動も多く行う。また、基本的に と聞き取ることができる。 テーションを聞いて内容を正しく理解 る。 内容について正しく理解することができる。 から論旨や中心的となるテーマについ かのな読みを行う事ができる。 の中から自ら選択した題材について	
受業の進行を表現しています。		説 毎参人テ授 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	受けたりする。	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、いくつ 学習内容の理解 が できる	かか よ物生の 週 英 英す 英で 英る 教て 子頭 頸る 也が まって がっこう あっこう のう でえ らず に のう かえ らず に のっこう のっこう かん かん ちゅうしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かん	はについて 関察の講教材 連定でいる 関察の講教材 対量をぜで読を を対したせい を対したがを 料がたせい にした。 では、 を対したがを にした。 を対したがでしたがでしたができます。 にしている。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	議論したり、追加の情報についての 能力を養うこと。英和・和英辞典持 面目に考えることが嫌いな学生や、 ない。ディスカッション、プレゼン さい活動も多く行う。また、基本的に と関き取ることができる。 アーションを聞いて内容を正しく理解 る。 内容について正しく理解することができる。 から論旨や中心的となるテーマについ から論旨や中心的となるテーマについ から論旨や中心的となるテーマについ から論ら選択した題材についてに ションを行うことができる。	
受業計區		説 毎参人 デ授 週 1 週 2 週 3 週 4 週 5 週 6 週 7 週	受けたりする。	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、いくつ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	かい よ物生の しょう 英す 英で 英る 教で 写頂 頃る 也吾 写真 である 教で 写頂 頃る 也吾 写真 である め でえ らず に の相 られ いに受話 しょり かっこ のる。の やえ らず に の相 られ	は、「原で講教材」を対して、「原でのででででででででででででいる。」では、「ないでは、」」」。「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」」。「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」」。「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」」。「ないでは、「ないでは、」」」。」」。「ないでは、「ないでは、「ないでは、これでは、「ないでは、」」」。」」。「ないでは、「ないでは、」」」。」」。「ないでは、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	議論したり、追加の情報についての 能力を養うこと。英和・和英辞典 に面目に考えることが嫌いな学生や、 ない。ディスカッション、プレゼン され。新も多く行う。また、基本的に と聞き取ることができる。 テーションを聞いて内容を正しく理解 る。 内容について正しく理解することができる。 から論旨や中心的となるテーマについ から論旨や中心的となるテーマについ から論ら選択した題材についてに ションを行うことができる。 かの考えを口頭で発表することができる。 かの考えを口頭で発表することができる。	
受業計画		説 毎参人デ授 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	受けたりする。	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、いくつになった。 学習内容の理解と、学習の担心になる 学のでは、 学のでは、 学のでは、 である活動が多い。 タープでは、 である活動が多い。 タープでは、 でするでするでは、 ですなでは、 でするでは、 でするでは、 ですな ですなでは、 ですなでは、 でするでは、 でするでは、 ですなでするでは、 でするでは、 でする	かから物生のでは、一般では、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きないでは、大きないでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きないでは、大きなでは、大きないでは、まないでは、大きないでは、いきないでは、ないでは、いきないでは、は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	は に 原 で 調 変 で 講 が は が を せ で 読 を の ら 課 ン が た せ で 読 を の ら 課 ン で た で に に に に に に に に に に に に に	議論したり、追加の情報についての 能力を養うこと。英和・和英辞典技 面目に考えることが嫌いな学生や、 ない。ディスカッション、プレゼン され。ディスカッション、基本的に 受けるできる。 一ションを聞いて内容を正しく理解 あることができる。 内容について正しく理解することができる。 から論旨や中心的となるテーマについ から論ら選択した題材についてに ションを行うことができる。 かの考えを口頭で発表することができる。 かの考えを口頭で発表することができる。 かの考えを口頭で発表することができる。	
注意点		説 毎参人デ授 週 1週 2週 3週 週 5 週 6 月 7 8 週 9 回 9 回 9 回 9 回 9 回 9 回 9 回 9 回 9 回 9	受けたりする。	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、い で	か よ物生の しょう 英す 英で 英る 教で 手頂 質る 也吾 子絜 類 しつかい より かい でい いい でい かい でい かい でい かい	は、「原の講教」の指すとなる。 質な ルインの 発見 ひとり いったいて 大き かいます という まったい まで かいまったい まで かいます という まったい おいます はいます かいます かいます かいます はいます かいます はいます かいます かいます はいます かいます かいます かいます かいます かいます かいます かいます か	議論したり、追加の情報についての 能力を養うこと。英和・和英辞典技 面目に考えることが嫌いな学生や、 かない。ディスカッション、プレゼン はが活動も多く行う。また、基本的に アーションを聞いて内容を正しく理解 る。 内容について正しく理解することができる。 内容について正しく理解することができる。 から論旨や中心的となるテーマについか的な読みを行う事ができる。 の中から自ら選択した題材についてに シーションを行うことができる。 かの考えを口頭で発表することができる。 いての疑問点や自分の意見について認 のできる。	
受業計區		説 毎参人 F 授	受けたりする。	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、い 理が	から、物生の しょう 英す 英で 英る 教で 手頂 質る 也吾 子絜 類 しつ展 発の いまの英 という 語語る 語き 語。 材考 えで 材。 者で えに 材 記い開 表が いまの英 といり こってる の やえ らずに の相 らま に でてし を	は、「原で講教 から プレト いっぱい では、「原で講教 から アレが を 料 料がたぜい 表に ため い わ自発 で ますめ まます とう み 読 中能 題テータ しえ 題記 の たのする かっぱい できる かい から 課ン て に伝 課て て れ分表 かっぱい かんしょう しょう かんしょう しょう かんしょう かんしょう しょう かんしょう しょう しょう しょう かんしょう かんしょう しょう かんしょう かんしょう しょう かんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	議論したり、追加の情報についての 能力を養うこと。英和・和英辞典特に面目に考えることが嫌いな学生や、 ない。ディスカッション、プレゼンは はいる事も多く行う。また、基本的に 一ションを聞いて内容を正しく理解 る。 内容について正しく理解することができる。 内容について正しく理解することができる。 内容について正しく理解することができる。 から論旨や中心的となるテーマについかのは読みを行う事ができる。 の考えを口頭で発表することができる。 から論目点や自分の意見についてによりできる。 から言いできる。 から言いできる。 の考えを口頭で発表することができる。 からないできる。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。 から記した題材についてに からないできる。 からないできる。 から言いている。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。 から言いていている。 から言いていている。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。	
受業計画	1stQ	説 毎参人デ授 週 1 1 1 1 1 1 1 1 1	受けたりする。	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、い理により、いの理により、いの理により、いの理により、いの理により、いの理により、 である活動が多い。	か よ物生の 一週 英 英す 英で 英る 教で 手頭 頸る 也吾 手紧 頸 「上つ展 発を 教の」 び事の英 「ご 語 語る 語き 語。 材考 えで 材。 者で えに 材 「記い開 表行 材」の「いまで 「あれ」の「います」の「います」の「います」で、「います」の「います」で、「います」の「います」で、「います」の「います」で、「います」の「います」で、「います」の「います」で、「います」で、「います」で、「います」で、「います」で、「います」で、「います」で、「います」で、「います」で、「います」で、「います」で、「います」で、「います」で、「います」では、「います」で、「います」で、「います」で、「います」で、「います」では、「います」では、「います」で、「いままます」で、「います」で、「います」で、「います」で、「います」で、「います」で、「います」で、「います」で、「いまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	は、原で講教 型 示 レが を 料 料が たぜ い 表に ため い わ自発 くが で い まで 動	議論したり、追加の情報についての 能力を養うこと。英和・和英辞典特に面目に考えることが嫌いな学生や、 ない。ディスカッション、プレゼンは はいる事も多く行う。また、基本的に 一ションを聞いて内容を正しく理解 る。 内容について正しく理解することができる。 内容について正しく理解することができる。 内容について正しく理解することができる。 から論旨や中心的となるテーマについかのは読みを行う事ができる。 の考えを口頭で発表することができる。 から論目点や自分の意見についてによりできる。 から言いできる。 から言いできる。 の考えを口頭で発表することができる。 からないできる。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。 から記した題材についてに からないできる。 からないできる。 から言いている。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。 から言いていている。 から言いていている。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。 から言いできる。	
受業計画	1stQ	説 毎参人 F 授	受けたりる。 ・	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、い理によりである活がい。 「本でおきがい。」 「おきでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	か よ物生の 周 英 英す 英で 英る 教で 手頂 頸る 也吾 手累 類 上つ展 発を 教 上の 大切 上の で 日本 上の 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	は、「原で講教」の「もプト本」等では、インフー・発手れと、フーラの「指手中を音に、「原の講教」、到示しが、を「料料が、たぜい、表に、ためい、わ自発くが、で設わい、思て勧誘。「自一正」と言み、読・中能 題テ 自一つえ ほごの にのす のき 心した	議論したり、追加の情報についての情報についての情報についての情報についての情報についての情報についての情報についての情報についての情報について学生や、かない。ディスカッション、基本的に要しく聞き取ることができる。「一ションを聞いて内容を正しく理解することができる。」「一ションを行うまができる。」「一ションを行うまができる。」「一ションを行うまができる。」「一ションを行うまができる。」「一ションを行うまができる。」「一ションを行うことができる。」「一ションを行うことができる。」「一ションを行うことができる。」「一つの最近できる。」「一つの最近では、一つの最近できる。」「一つの最近できる。」「一つの最近できる。」「一つの最近できる。」「一つの最近できる。」「一つの最近できる。」「一つの最近できる。」「一つの最近できる。」「一つの最近できる。」「一つの最近できる。」「一つのような、一つのようない。	
受業計画	1stQ	説 毎参人 F 授	受けたりる。 (注) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記	関し互いに質疑応答・ ・復習)に取り組み こ対し、自発的な姿 と意見交換をしたり で自分の意見を述べ	を行うほか、い理によりである。 「おきでは、	から物生の 間、英、英す、英で、英る、数で、手頂・質る、也香、与絮、質(上つ展・発を)数(上つか)が事の英(と)のこのる(の)やえ、らず(こ)の相(らま)に、「でも)、をうした。(なっ)であった。(の)で かっぱん いっぱん いっぱん いっぽん でんしん あいい しゅうしん かいしょう いっぱん いっぽう いんしん かいしょう いっぱん いっぽう いんしん かいしょう いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん	は、「原で講教」の旨プとは、資質なインの、発見れどの、音の、間影中を音ない、の、時報、到示しが、を、料料がたぜい、表に、ためい、わ自発くがで設わてい、思て勧を、ぜで読いを、のら課と、て、に伝課で、て、れ分表人で中定れ意い、思て勧診。 目 正 しきみ、読い中態 題テータ しえ 題記 の たのす のきんし たれて 考責め読	議論したり、追加の情報についての情報についての情報についての情報についての情報についての情報についての情報についての情報についての情報についてがない。ディスカッショナ、基本的に見ることができる。「一ションを聞いて内容を正しく理解することができる。」「一ションを聞いて正しく理解することができる。」「一ションを行う」した題材についている。「一ションを行う」とができる。「一ションを行う」とができる。「一ションを行う」とができる。「一ションを行う」とができる。「一ションを行う」とができる。「一つ。」という。「日本の疑問点きる」とができる。「日本の疑問点きる」とができる。「日本の疑問点きる」とができる。「日本の疑問点きる」とができる。「日本の疑問点きる」とができる。「日本の経過できる」「日本の経過できる。」「日本の経過できる」「日本の経過できる」「日本の経過できる」「日本の経過できる」「日本の経過できる」「日本の経過できる」「日本の経過できる」「日本の経過できる」「日本の経過できる」「日本の経過できる」「日本の経過できる」「日本の経過できる」「日本の経過できる」「日本の経過できる。」「日本の経過でも、日本の経過できる。」「日本の経過できる」「日本の経過できる」「日本の経過でする」「日本の経過でする。」「日本の表の表のできる」「日本の表のできる」「日本の表のでは、日本の表のでは、日本の表のでは、日本の表のでは、日本の表のでは、日本の表のでは、日本の表のでは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本の	
受業計區	1stQ	説 毎参人 デン	受けたの (A)	関し互いに質疑応答 ・復習)に取りは ・では ・では ・では ・では ・では ・では ・では ・では ・では ・で	で	から物生の 間、英、英す、英で、英る、教で、手頭、質る、也吾、与絜、質の、上つ展、発を、教の、上こ、上の、は物生の ご言語語 いきき 語。 材考 えで 材。 者で えに 材 にい開 表行 材問 記組 記が事の英 との かっこのる の やえ らず に の相 らま に でてし、をう の題 でみ・項 ・	は、「家の講教」の旨プと本い資産なインスの発表れたとの、音の関す中を音を目に、家の講教、到示しがを、料、料がたぜい、表にため、い、わ自発くがで設わてについて、報子の計算をできます。 しょう でいて まりめ まい おりまい おいましょう かいしょう かい おりまい しょう かい かりまい しょう かい かりまい しょう かい かり かい かい かり かい	議論したり、追加の情報についての情報についての情報についての情報についての情報についての情報についての情報についての情報についての情報についてのない。ディスカッショまた、基本的に要して関き取ることができる。「一ションを聞いて内容を正しく理解することができる。「一ションを聞いて内容を正しく理解することができる。「一ションを聞いて」という。「一ションを開いて」を表現したできる。「一ションをの考えを口頭で発表することができる。」「一ションを関いて」を表現したできる。「一ションを関いて」を表現したの考えを口頭で発表することができる。「一つの考えを英語できる。」「一つのよう」という。「一つのよう」という。「一つのよう」という。「一つのよう」という。「一つのよう」という。「一つのよう」という。「一つのよう」という。「一つのよう」を表現したができる。「一つのよう」という。「一つのよう」という。「一つのよう」という。「一つのよう」という。「一つのよう」という。「一つのよう」を終合のに使用し、事実やそれる。「一つのよう」という。「一つのよう」という。「一つのよう」という。「一つのよう」を終合のに使用し、論言を論理」を終合のに使用し、論言を論理」を必要することができる。	

評価割合									
	試験	発表	レポート等	態度	合計				
総合評価割合	50	40	10	0	100				
目標到達度	50	40	10	0	100				